

8月のびびりム

暑さはぐいへ

7月30日、早来小学校体育館で平成27年度安平町高齢者スポーツ大会が行われ、約180名の元気な高齢者が参加しました。5つのチームに分かれてピン転がしリレーやボウリング、玉入れなどの競技だけでなく、応援にも熱が入りチームが団結した真剣勝負を展開し、大会は盛り上がりつつあります。

今年の覇者は青組。皆さんお疲れ様でした。



来館者で賑わいました

8月1日、安平町鉄道資料館では臨時開館が行われ町内外から多くの方が来館。

天候に恵まれたこともあり、屋外展示されたSL「D51・320号機」の周りには記念撮影をする人の姿で賑わいました。そのほか、資料館横にはレールが敷かれ、その上を1/10スケールのミニSLが走行。これには来館者も乗車でき、子どもから大人まで楽しむ様子が伺えました。

地域の活性化に一役

8月3日、地域サポート職員が追分庁舎で行われました。

日常生活において、地域を支え、行政と地域を繋ぐパイプ役を担う地域サポート職員は、町内10の自治会・町内会で11名。

まちづくり基本条例に掲げる、町民参画による協働・連携のまちづくりを進め、活気あふれる安平町を創造していきます。皆さんもぜひご協力ください。



仲間と協力の3泊4日

8月4日から3泊4日の日程で、安平町少年少女探検隊が瑞穂ダム周辺で行われました。

探検隊は、安平町の自然や生き物と直接触れ合いながら、仲間とともにサバイバルキャンプをするというもので、小学5、6年生12名が野外活動を体験。

厳しい自然環境での活動は、みんなと力を合わせて奮闘した初日のテント設営に始まり、4日間苦戦を強いられたのは、食後の後片付け。食中毒にならないよう、洗い残



しや拭き残しがなくなるまで、何度も何度もやり直しました。

キャンプは大変なことだけではありません。みんなと協力して作るご飯は、各グループ大成功で、親子丼やオムライスなど「美味しくできた」と笑顔で話す子どもたちでした。ほかにも、星座観察やナイトハイクなども体験し、満足できた様子が伺えました。

仲間と協力した3泊4日は、参加者にとって忘れられない夏の思い出となったのではないのでしょうか。

